

2022年3月10日
住友電装株式会社

経済産業省が“優良な健康経営を実践している法人”を顕彰する 「健康経営優良法人 2022」に認定

住友電装株式会社（本社：三重県四日市市、社長：漆畑 憲一、以下 住友電装）とグループ会社のSWS西日本株式会社（本社：三重県松阪市、社長：佐久間 敦敬、以下、SWS西日本）は、この度、経済産業省と日本健康会議が共同で顕彰する「健康経営優良法人 2022（大規模法人）」に認定されましたのでお知らせいたします。住友電装としては2018年から2021年に続き5回目の認定となり、SWS西日本も昨年に続き2年連続の認定となります。



「健康経営」とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する取り組みを指します。健康経営優良法人認定制度は、従業員の健康保持・増進において特に優良な取り組みを実践している企業や法人を経済産業省と日本健康会議共同で顕彰する制度です。

■ 住友電装の具体的な取り組み

住友電装は社員一人ひとりの健康は活気ある企業の源そのものと考え、2021年10月に「住友電装グループ健康宣言」を更新し、明るくクリーンな「働き甲斐のある元気な会社」をめざすため、従業員の積極的な健康づくりを支援することを宣言し、以下の健康増進活動を行っています。

■ 重点取組課題・目標

1. 法令遵守体制の強化
 - ・特殊健診の実施体制の整備：抜け漏れのない実施体制の再構築。
2. 健康労働寿命・貢献寿命の延伸・労働力の確保
 - ・メタボ改善推進：適性体重維持者率の1%増加。
 - ・禁煙啓発強化：喫煙者へのサポートメール・イベントを通じた禁煙成功者の増加。
3. 健康づくり（啓発活動）
 - ・食事や運動イベントを通じた従業員の健康意識向上。

■ 成果と今後のチャレンジ

1. 法令遵守体制の強化

- ・多様な化学物質の管理状況把握、特殊健康診断の確実な実施に向けた現状整理の実施。
- ・今後は対象職場への教育や勉強会を実施し、継続管理可能な仕組みづくりの構築をめざす。

2. 健康労働寿命・貢献寿命の延伸・労働力の確保

①メタボ改善推進

- ・健康保険組合とのコラボヘルスを強化し、ICT 面談による特定保健指導の実施推奨と就業時間内の面談を可能にし、実施率向上を図った。

②禁煙啓発強化

- ・健康増進法の一部改正により受動喫煙対策が強化される以前から喫煙環境対策に取り組んでおり、現在は個々の喫煙者に対するサポートにも注力している。21年度は、喫煙者を対象とした「禁煙ダービー」を国内グループ会社一体で取り組み、25名の要支援者を公募・選出し、内8名の禁煙達成に繋がった。

※「禁煙ダービー」は厚生労働省「受動喫煙防止対策事例（中部エリア）」にも記事掲載予定。

	1	2	3	4	5	6	7
写真							
禁煙挑戦者							
喫煙歴							
1日に吸っていた本数							
禁煙への意気込み							
禁煙継続実績							
9/14	○	○	○	×	○	○	○
9/15	○	○	○	○	○	○	○
9/16	○	○	○	○	○	○	○
9/17	○	○	○	×	○	○	○
9/18	○	○	○	×	○	○	○

3. 健康づくり（啓発活動）

- ・コロナ禍でも自主的に健康づくりが行えるよう、当社内アスリート社員（女子ラグビーチーム PEARLS 所属）の考案する栄養バランスを考えた健康メニューの食堂提供を実施。
- ・社内オンライン上に「健康コミュニティ」を立ち上げ、食事や運動等の定期的な情報配信や、イベントを通じて健康意識の向上を図った。

住友電装は、今後も従業員の積極的な健康づくりを支援し、心身ともに健康な状態で働くことができるよう健康の保持増進に努めます。

以上

—ご参考—

◆健康経営優良法人認定制度について[経済産業省]

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenko_keiei.html

◆住友電装について

住友電装は1917年に創業し、クルマの中のさまざまな機器をつなぎ、電力や信号をすみずみまで伝える「ワイヤーハーネス」を製造する世界トップクラスの企業です。時代のニーズを先取りする研究開発をベースに、カーメーカーをはじめとするお客様の期待に応えて、自動車用ワイヤーハーネスのほか、エレクトロニクス製品、ハイブリッド車・電気自動車用製品などの幅広い製品群を展開しています。これまでに培ってきた「つなげる、つながる」技術を活かしてもっと安全に、もっと便利に、もっと環境にやさしい次世代のモビリティ社会に貢献していきます。